ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所属 健康栄養学科

名前 福田 平

作成日 2025.4.17

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

身体の構造と機能Ⅰ／身体の構造と機能Ⅱ／臨床医科学入門／管理栄養士基礎演習Ⅰ

病理学概論／疾病と治療・総論／疾病と治療Ⅰ／疾病と治療Ⅱ／疾病と治療Ⅲ／疾病と治療Ⅳ、医学概論／病理学／内科学

2. 理念（教育に対する考え方）

私は、医療現場で活躍する医療従事者の皆さんが「なぜその疾患が起こるのか」「どのように治療につながるのか」を深く理解することが、質の高い医療提供につながると考えています。

単なる暗記にとどまらず、病態生理を“自分の言葉で説明できる力”を育むことを目標に、日々の授業を工夫しています。

総合病院内科・循環器科、大学保健管理センターに医師として勤務した経験を生かして、未来の医療を支える学生さんに、「学ぶことは患者さんのためになる」という実感を持ってもらえるよう、丁寧な指導を心がけています。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

医療従事者を目指す学生さんにとって、病理学や疾患の理解はときに難解で抽象的に感じられることがあります。

そこで私は、できるだけ「現場に即した視点」や「臨床で役立つ知識」に焦点を当てて授業を設計しています。

イラストや図解、症例ベースの解説を取り入れ、知識が“つながっていく”感覚を持てるよう工夫しています。

また、専門用語の背景や理由も丁寧に説明することで、「なぜそれが重要なのか」を自分の中に落とし込めるよう支援しています。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

「難しい内容だったけれど、図解や具体例がわかりやすかった」「実際の臨床にどうつながるのかイメージが持てた」といった声をいただいたことは、私にとって非常に励みになっています。一方で、「内容が多くて整理が難しかった」というご意見もありましたので、今後は要点の明確化や復習の機会を増やすなど、さらに理解が深まるような工夫を取り入れていきたいと考えています。

学生さんの声を活かしながら、現場で即戦力となれるような“考える医療人”を育てる教育を続けていきます。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

演習問題が役立ったという意見があったので、さらにとりいれていきたいと考えています。

* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

【添付資料】

- * TPの記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。)